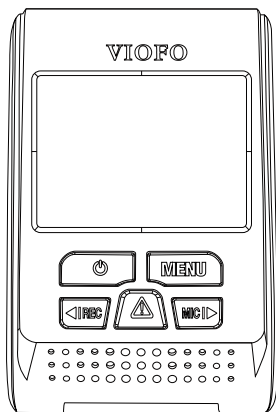


VIOFO[®]

A119 PRO

取扱説明書



著作権は、Viofo Ltdに帰属します。

目次

注意事項

取り付け

オプション
取り付け方法
ヒント

ボタンと機能紹介

端子
LED
ボタン機能の説明

操作

電源オン
電源オフ
ループ録画
衝撃録画
動体検出
ビデオ再生
コンピュータに接続する
マイクをオン/オフにする
ファームウェアを更新

システム設定

ビデオ解像度

目次

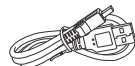
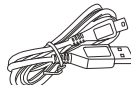
ループ録画
露出
WDR
駐車モード
インターバル撮影
動体検出
GPS
速度単位:
Gセンサー
LDWS (車線逸脱お知らせ)
FCWS (先行車発進お知らせ)
日付表示
GPS情報スタンプ
モデル情報スタンプ
録画な音声
スクリーンセーバー
LED
日/時刻
タイムゾーン
言語
電子音
明滅の頻度
画像回転
フォーマット
フォーマット警告
デフォルト設定
ナンバープレート
ナンバープレート
ユーザー情報
バージョン

注意

- 濡れた手でカメラを設置または操作しないでください。
- カメラを湿った場所や液体や可燃性ガスに近い場所に設置しないでください。
- カメラは運転者の視認性や安全性を妨げない場所に設置します。
- 車内の温度が高くなっている場合、安全の為にカメラを設置しないでください。
- 定格電圧を超える電源を使用しないでください。
- 製造業者は、本品付属の充電ケーブル以外を使用することにより生じた如何なる事故の責任も負いません。
- カメラや充電ケーブルを分解しないでください。生じた損害は保証の対象外となります。
- レンズを強く押さないでください。
- カメラや付属品の上に鋭利なものを使用しないでください。
- カメラの録画中または電源オフ中は、ファイルの損傷を防ぐためにMicro SDカードを取り出さないでください。
- クラス10のMicro SDカードを使用することをお勧めします。容量は8GB以上（最大サポート容量は128GB）を推奨します。
- 初めて使用される場合、事前にmicroSDカードをフォーマットしてからお使いください。
- ファームウェアの更新中は電源を切らないでください。
- 本マニュアルに記載の製品機能および内容は、変更となる場合がございます。

取り付け

オプション



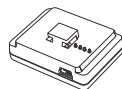
USBカーチャージャー USB電源ケーブル(4m) USBケーブル



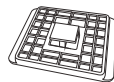
3M両面テープ



吸盤ブラケット



GPSモジュール



非GPSモジュール



クリップ



マウントデタッチングストリング

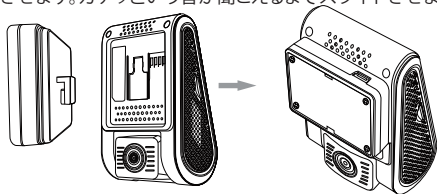
注意:

- 1) 長いUSBケーブル「USB電源ケーブル (4m)」は、充電用です。
- 2) 短いUSBケーブルは、カメラとパソコンを接続するファイル転送用です。

取り付け方法

1) マウントベースの取り付け

- ① マウントベースとマウンティングレールに合わせてスライドさせます。カチッという音が聞こえるまでスライドさせます。



- ② 3M両面テープから保護シールをはがします。



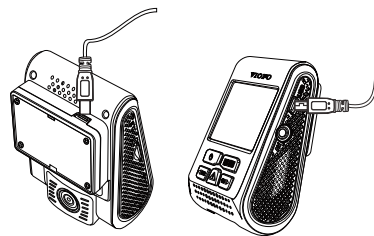
- ③ 本機を選択された位置に取り付け、レンズ角度を調整します。

2) 電源接続

車両の12V/24VソケットにUSB電源アダプタを差し込みます。
USBケーブルのプラグをカメラのUSB端子に差し込みます。

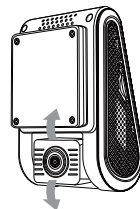
注意:

GPSモジュール上のミニUSB端子またはドライブレコーダーの端子も充電できます。



3) レンズを調整する

レンズを上下に動かして角度を調整します。



ヒント

- ・動体検知機能は駐車監視にのみ推奨され、運転中に「動体検知」機能がオンになると、常時録画できない場合があります。
- ・本機が録画モードの時、衝撃力を測定するとループ録画の対象にならないようにファイルが自動的にロックされます。
- ・低く設定することをお勧めします。

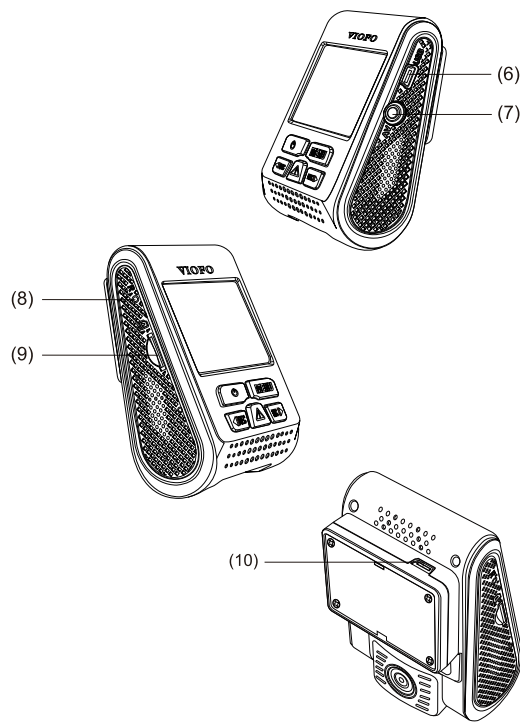
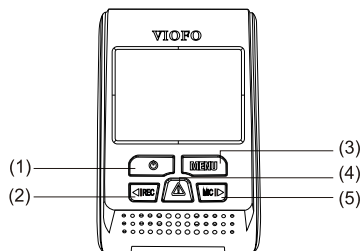
1. 運転者の視界を妨げたり、運転の安全性を妨げたりする場所にカメラを設置しないでください。
2. 録画を見やすくするために、バックミラーの近くにレコーダーを取り付けます。
3. 雨天時にははっきりと見えるように、フロントガラス用ワイパーのワイパー範囲に製品を取り付けてください。
4. レコーダーをエアバッグパネルの上または近くに設置しないでください。
5. 車両のリアガラスにサンバイザーが取り付けられている場合は、サンバイザーの使用によってレコーダーが影響を受けない位置を選択する必要があります。カメラの近くに他の電子機器を取り付けしないでください。"

注意:

カメラやケーブルをエアバッグパネルの近くやエアバッグの動作範囲内に取り付けしないでください。製造者は、エアバッグの展開によって引き起こされた如何なる事故についても一切の責任を負いません。

ボタンと機能紹介

端子



- (1) 電源 (2) 録音/左 (3) メニュー選択ボタン (4) 緊急ロック/確認
 (5) マイク/右 (6) ミニUSB端子 (7) AV出力 (8) リセット
 (9) microSDカードスロット (10) USB端子

LED

LEDカラー	操作
赤く点灯	電源オン、録画中
赤く点滅	1. 電源オン、スタンバイ 2. アップグレード

ボタンとアイコン

モード	ボタン	操作
スタンバイモード		電源オン/オフ
		メニュー表示
		プレイリスト表示
		録画を開始
		録画を停止 もう一度押すと録画を開始

ビデオモード		スクリーンを閉じる スクリーンを開く
		写真を撮影
		録画中のファイルをロック
		録画を停止
		録音をオフ/オン

プレイリスト		電源オン/オフ
		前のデータへ戻る
		1. 最後のビデオを選択 2. ビデオを削除
		1. 最後のビデオを選択 2. ビデオを削除
		1. 選択したビデオを入力 2. ビデオを再生/一時停止

設定メニューモード		スクリーンを閉じる スクリーンを開く
		録画モードに戻る
		最後の機能を選択
		次の機能を選択
		機能選択表示

00:00:00
1440P30

録画モード
00:00:00 録画時間
1440P30 ビデオの解像度

録音状態
 緊急ロック
 マイク
 SD カード

2019/05/01 08:32:10

取り付け

1) 電源オン

MicroSDカードをカメラのカードスロットに挿入します。車両の12V/24VソケットにUSB電源アダプタを差し込みます。USBケーブルのプラグをカメラのUSB端子に差し込みます。エンジンをオンにすると、装置は自動的にオンになります。

2) 電源オン/オフ

- ①自動：ドライブレコーダーの電源がオンの場合、エンジンを切るまたは充電ケーブルを抜くすると、カメラの電源が自動的オフになります。
- ②手動：エンジンがオフになった後も12V/24Vの電源コンセントを使用して連続電力を供給する場合は、カメラを手動でオフにする必要があります。
- ③カメラの電源が充電しない場合、カメラの電源を切るには5秒以上かかります。
- ④電源ボタンを3秒以上押すと電源が入ります。カメラがオンになりました。

3) ループ録画

- ①micro SDカードが挿入されたレコーダーが電源に接続されると、ループ録画が自動的に開始されます。
- ②録画時間(ファイル生成時間)を「1/2/3/5/10」分から選択できます。
- ③SDカードの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きされていくので、途中で録画が停止することはありません。
- ④ループ録画ファイルはSDカードに保存されます。\\DCIM\\MOVIEフォルダ

4) 衝撃録画

①自動緊急録画

録画中に衝撃を感知すると、自動で録画しているファイルをロックします。ロックされたファイルは上書きされません。

②手動緊急録画

録画中に[△]ボタンを押すと、現在録画中のファイルがロックされます。ロックされると、ファイルは上書きされません。

注意：

衝突感度はメニュー設定->「衝撃感度」オプションで調整できます。

5) 動体検知

動体検知：オンにすると、レコーダーの正面に動きがあった場合、自動的に録画を開始します。動体検知中、60秒間動きを検知しなかった場合、録画が停止し動体検知モードに入ります。新しい動作が検出されると、レコーダーは再度録画を開始します。

6) ビデオ再生

- ①スタンバイモード（録画されていない状態）で、[△]ボタンを押してプレイリストに入ります。
- ②矢印キー[◀|REC MIC▶]を使って希望のビデオを選択し、[△]ボタンを押して再生します。
- ③[≡]ボタンを押して終了します。

7) コンピュータでビデオを再生する

- ① 付属のミニUSBケーブルを使って、レコーダーをコンピューターに接続します。
- ② レコーダーの電源がオンになり、画面に「SDカードリーダーモード」が表示されます。
- ③ 自動的にリムーバブルディスクとして認識されます。
DCIMフォルダは2つのフォルダがあります。
Movie (ループ録画ビデオファイル)
サブフォルダが含まれています:
EMR (保護された/ロックされたビデオファイル)
Picture (映像写真)
コンピューターに必要なファイルをコピーします。

8) マイクをオン/オフ

[MIC▶] ボタンを押して、マイク機能をオンまたはオフにします。

9) ファームウェアを更新

- ① 最新のファームウェアをダウンロードしてファイルを展開します。
- ② .bin ファイルをMicro SDカードに移動してください。
転送が完了したら、Micro SDカードをカードスロットに挿入し、ドライブレコーダーの電源をオンにしてください。
- ③ 更新の進行状況をLEDランプの点滅状態で確認できます。
更新後、カメラは自動的にオンにします。
- ④ 現在インストールされているファームウェアのバージョンをメニューで確認できます。

注意:

ファームウェアを更新する前に、レコーダーでメモリカードをフォーマットすることをお勧めします。
- ファームウェアを更新する際、レコーダーの電源は切らないでください。更新に失敗し、起動できなくなる場合があります。

システム設定

ビデオモードでメニューボタンを押してシステム設定ができます。

• **解像度:** 録画したビデオの解像度を設定します。解像度:
1920x1080P 60fps, 1920x1080P 30fps, 1280x720P 120fps,
1280x720P 60fps, 1280x720P 30fps

• **ループ録画:** 録画時間(ファイル生成時間)を「1/2/3/5/10」分から選択できます。

• **露出:** 映像の明るさ(光量調節)を調節できます。露出値は-2.0から+2.0の範囲です。フロントカメラとリアカメラの露出値は別々に調整できます。デフォルト設定は0.0です。

• **WDR:** WDRをオンにすると、白とびや黒つぶれを補正した録画データを記録することができます。

• **駐車モード:** オンにすると、レコーダーが90秒以内に動きや衝突を検出しない場合、レコーダーは駐車モードに入ります。新しい動作が検出されると、レコーダーはインターバル撮影で再度録画を開始します。

• **インターバル撮影:** 低フレームレートでビデオを録画すると、メモリを節約し、ビデオの再生にかかる時間を短縮できます。デフォルト設定はオフです。

• **動体検知:** オンにすると、レコーダーの正面に動きがあった場合、自動的に録画を開始します。動体検知中、60秒間動きを検知なかった場合、録画が停止し動体検知モードに入ります。新しい動作が検出されると、レコーダーは再度録画を開始します。

・**GPS:** GPS機能のオン/オフを切り替えます。GPSモジュールは車速と位置情報を記録するために使用されます。オフ設定時、レコーダーは車両の速度と位置を記録せず、日時を自動的に同期しません。パソコン等でビデオを再生し、GPSの軌跡と速度を表示する場合はプレーヤーを使用してください。

・**速度単位:** キロメートル/時 (KMH) とマイル/時 (MPH)。

・**G-sensor:** Gセンサーは衝撃力を測定し、ループ録画の対象にならないようにファイルが自動的にロックされます。。低く設定することをお勧めします。

・**LDWS (車線逸脱お知らせ):** 高速道路で車が車線から出て行くと、LDWSは警報音でお知らせします。

・**FCWS (先行車発進お知らせ):** 車両が前方の車両にどんどん近づく、FCWSは警報音でお知らせします。

・**日付表示:** 録画したビデオに時刻と日付を表示します。

・**GPS情報スタンプ:** 録画したビデオにGPS情報を表示します。

・**モデル切り株:** 録画ビデオにドラレコモデルを表示します。

・**録画な音声:** マイクのオン/オフを切り替えます。
録音中にマイクボタン[MIC |▶|]を押してマイクのオン/オフ変更ができます。

・**スクリーンセーバー:** 何の操作も行わないと3分後にデフォルトで画面が黒くなります。

・**LED:** LEDのオン/オフを切り替えます。

・**日/時刻:** システムの日付/時刻を設定します。

タイムゾーン: 現在のエリアタイムゾーンを設定します。注意: 手動で夏時間を調整しなければなりません。(日本GMT+9:00)

言語: 各種言語に変更可能です。(英語、中国語、フランス語、日本語など)

・**電子音:** ボタンの操作音と電源オンの音をオンまたはオフにします。

・**明滅の頻度:** 地域の使用電圧に応じて周波数を調整してください。(東日本50Hz / 西日本60Hz)

・**画像回転:** この機能をオンにすると、ホスト画面表示と録画ビデオが**180度**回転します。

・**フォーマット:** **Micro SD**カードのすべてのデータを削除します。注意: カードをフォーマットした後、すべての情報が削除され、回復することはできません。フォーマットする前に、必要なファイルをすべてバックアップしてください。

・**フォーマット警告:** フォーマットリマインダーの間隔を設定します。(定期的にフォーマットすることでメモリーの寿命が長くなります)

・**デフォルト設定:** デバイスを出荷時設定に復元します。

・**ナンバープレート:** 録画したビデオに車番号を表示します。

・**バージョン:** レコーダーの現在のファームウェアバージョンを表示します。

・**ユーザー情報:** ユーザー情報をビデオで表示します。

・**バージョン:** レコーダーの現在のファームウェアバージョンを表示します。

会社概要 <https://www.viofo.com/>

カスタマーサービス



12ヶ月保証，生涯技術サポート



support@viofo.com



www.facebook.com/viofo.world



+86 755 8526 8909 (CN)



営業時間：月曜日から金曜日の午前9時から午後6時まで